

第1章

由布市について



由布市はどんなまち？

ゆふし 由布市について

ゆふし おおいたけん ちゅうおう いち
 由布市は、大分県のほぼ中央に位置して
 います。面積は 319.32km²です。由布
 岳 黒岳という大きな 2 つの山に挟まれ
 ています。

ゆふだけ ゆふいん べっふし あいだ
 由布岳は湯布院と別府市の間にある
 標高1,584mの山で、「豊後富士」とも呼
 ばれます。

くろだけ しょうない たけたしくじゅうまち あいだ やま ゆふだけ
 黒岳は、庄内と竹田市久住町の間に
 ある1,587mの山です。由布岳も、
 黒岳も「阿蘇くじゅう国立公園」に
 指定されています。

ゆふし ま なか なが おおいたがわ ゆふいんぼんち げんりゅう しょうないちいき
 由布市の真ん中を流れる大分川は、由布院盆地を源流に、庄内地域、
 挾間地域を通り、大分市を流れて海に出ます。長さ 55km の一級河川
 です。



●調べてみよう、やってみよう！●



1	自分の住んでいる場所を地図で調べてみよう。	
2	由布岳の登山口にいてみよう。	

ゆふし ししやう 由布市の市章

かたち
形は、「YUFU」の「Y」をイメージし、
のびのびと生きる市民の様子を表しています。

いろ
色は、オレンジ色=太陽、緑色=大地を表し、
自然に恵まれた由布市をイメージしています。



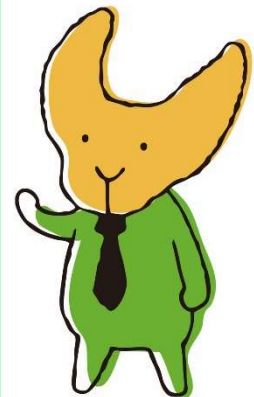
ゆーふー

「ゆーふー」はゆふしのゆるキャラです。
ちょっとメタボ気味の謎の生き物です。

ゆふしやくしょせんてんぶ きんむ ゆふし
由布市役所宣伝部に勤務し、由布市をみんなに知っ
てもらおう活動とみんなが住みやすいまちを目指して
まいにちがんば
毎日頑張っています。

あたま かたち ゆふし ちけい
頭の形は由布市の地形、
くち かたち
口の形は「YUFU」のYの字を表しています。

へいせい
平成23（2011）年8月に一般公募により
う
生まれました。



ここからは、ゆーふーが
時々登場するよ！
何種類のポーズがあるか
数えてみよう！

由布市の花、木、鳥

ゆふし はな 由布市の花～コスモス



ちつじょ ちょうわ うちゅう
「秩序と調和をもつ宇宙」という
いみ をもち、すでに ゆふし ない ひろ
意味をもち、すでに由布市内で広く
う そだ した
植え育てられており、親しまれてい
ます。

ゆふし き 由布市の木～アラカシ

ゆふし さとやま じせい か
由布市の里山に自生するブナ科の
じょうりょくじゆ づよ きょうこ
常緑樹です。ねばり強く、強固で、
もり かいふく ちから も
森を回復させる力を持っています。



ゆふし とり 由布市の鳥～ウグイス



「ホーホケキョ」という な ごえ ひん
のよ さで知られるウグイスは、ゆ
ふし しぜん なか おお せいそく
由布市の自然の中でも多く生息して
います。

市民憲章

ゆふし しみんけんしょう
由布市では、市民憲章として
「四つの誓い」を掲げています。

けんしょう
「憲章」とは、
“とても大事な取り決め”という
いみ
意味があります。

由布市民憲章 — みんなの誓い —

私たち由布市民は

みんなの幸せのために、
四つの誓いを果たすことに努めましょう。

(感謝と使命)

一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

(融和と郷土愛)

一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

(平等と仁愛)

一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にする
あたたかいまちをつくります

(協働と希望)

一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

(感謝と使命)

- 一、豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

(融和と郷土愛)

- 一、郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

(平等と仁愛)

- 一、一人ひとりの人権を尊重し
子どもやお年寄りを大切にするあたたかいまちを
つくります

(協働と希望)

- 一、地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります

由布市非核・平和都市宣言

ゆふし かくへいき へいわ せかい じつげん む ひかく へいわとし せんげん
由布市では、核兵器のない平和な世界の実現に向け、「非核・平和都市」の宣言
おこな
を行っています。

わたし じんるい へいわ い けんり も へいわ じんるい
私たち人類は平和に生きる権利を持っており、平和は人類
きょうつう ねが げんじつ かくかくさん みるぞく しゅうきょう
共通の願いであります。しかし、現実には核拡散や民族、宗教、
しげんぶんそう ぶりょくこうし こうい ひんぱん お
資源紛争などによる武力行使やテロ行為が頻繁に起きており、
せかいへいわ しんこく きょうい
世界平和に深刻な脅威をもたらしています。

くに か こ ひろしま ながさき せかいゆいいつ かくひばく たいけん
わが国は過去に広島・長崎において世界唯一の核被爆を体験
じんるい そんぼう きぐ かく きょうい ひさん わす
しました。人類の存亡さえ危惧される核の脅威と悲惨さを忘
ぜんせかい うった れきしてきせきむ お
れることなく、全世界に訴えていく歴史的責務を負っていま
す。

ゆふしみん にほんこくけんぽう かか こうきゅうへいわ りねん
由布市民は、日本国憲法に掲げられている恒久平和の理念を
こころ つよ きざ はんせんへいわ かくへいき ぜんめんとつぱい めざ
心に強く刻み、反戦平和、核兵器の全面撤廃を目指していき
さら ちきゅうじょう ぶんそう ひ
ます。更に、この地球上にあらゆる紛争がなくなる日まで、
へいわ もと ゆ けつい も つづ ちか
平和を求めていく揺るがぬ決意を持ち続けることを誓い、こ
ひかく へいわとし せんげん
こに非核・平和都市を宣言します。



由布市の 10 年先をみつめる

「まちづくりの計画（由布市総合計画）」

由布市では、平成28(2016)年度から令和7(2025)年度までの10年間のまちづくりの計画をつくりました。それが「第二次由布市総合計画」です。由布市に住む人が少なくなっていくことが予想されるなか、どのようなまちを目指していけばいいかを定めています。

まちづくりの 目標

地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市

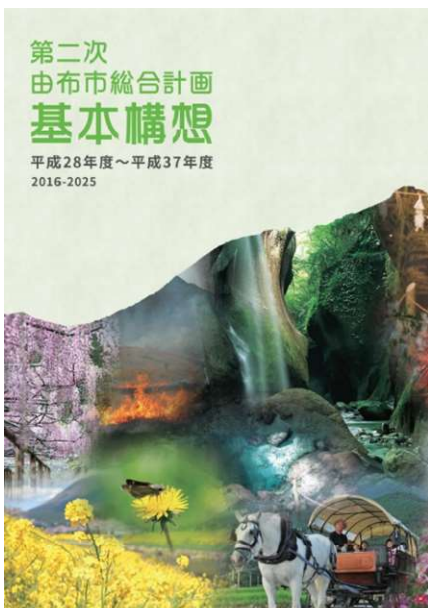
本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、

「令和7年(2025年)の将来計画人口**32,000**人」

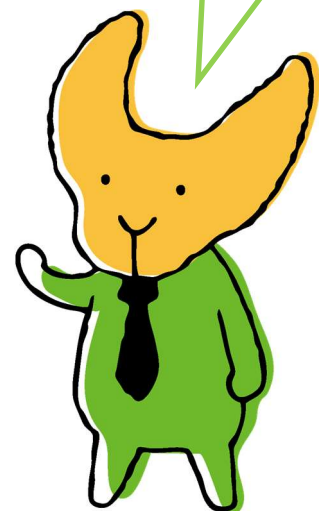
を目指します。

まちづくりの 基本理念

「連携」と「協働」 「創造」と「循環」



総合計画は
由布市の
ホームページで
みることが
できるよ。



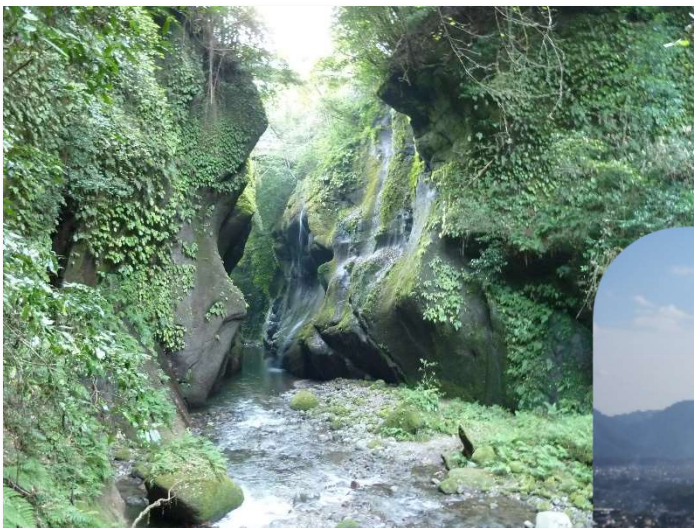
由布市の地域（挾間、庄内、湯布院）

由布市は平成17(2005)年10月1日に、挾間町・庄内町・湯布院町の3つの町が合併して誕生しました。

挾間地域

挾間地域は、由布市の東側、大分川の下流に位置する地域です。隣の大分市とも距離が近いので、大分市に仕事に行く人も多く暮らしています。そのため、由布市のなかでは一番人口が多く、今も住宅地やアパートが増え、子どもたちもたくさん住んでいる地域です。そのため、挾間地域は、大分市のベッドタウンや衛星都市とも呼ばれることがあります。

住みやすい環境がととのっている挾間地域ですが、北西部の別府市のほうへ丘が続く一帯には、日本棚田100選に選ばれた「由布川奥詰の棚田」や「由布川峡谷」など、豊かな自然がたくさん残っています。



庄内地域

庄内地域は、由布市の中央、大分川の中流に位置する地域です。

南西部は、「阿蘇くじゅう国立公園」に含まれる黒岳の裾野が広がっています。黒岳のふもとには名水100選に選ばれた男池湧水や、天然の炭酸水が湧き出しているところもあり、全国的に注目を浴びています。

伝統芸能として、庄内神楽が盛んで、毎年のお祭りには、市内や市外からたくさんの方が楽しみにやってきます。

由布市の中でも、農業を中心とした地域ですが、過疎化・高齢化が進んでおり、次の担い手を育てていくことが課題です。



東経 131 度 25 分 54 秒
北緯 33 度 12 分 9 秒の
大分県のど真ん中
「おおいたのへき」は
庄内にあるよ！



湯布院地域

湯布院地域は、由布市の西側、大分川の源がある地域です。北に火山活動が活発な伽藍岳（標高1,045m）、豊後富士と呼ばれる由布岳（標高1,584m）があります。由布岳のふもとに、由布院盆地が広がり、由布院駅前から金鱗湖までの一帯は、湯布院観光の中心地となっています。

由布院温泉、湯平温泉は、国民保養温泉地として登録されており、温泉を中心とした観光が盛んです。湯布院を盛り上げようと地域の人々によって始められたお祭り「湯布院映画祭」や「牛喰い絶叫大会」などユニークなお祭りが、一年を通して、今も脈々と受け継がれています。



※ 2019年10月に塚原温泉、庄内温泉、挾間温泉を加えた5つの温泉地全域が「湯布院温泉郷」として拡充指定されました。

おまけのおはなし

～ “湯布院” と “由布院”、漢字が2つあるのはなぜ？

由布市になる前の「湯布院町」は、昭和30(1955)年に「由布院町」と「湯平村」が合併して誕生しました。旧「由布院町」は、主に由布院盆地内を中心とした一帯のことを言います。そこで湯平村と合併したことから、「湯平」の「湯」と「由布院」の「布院」とを合わせて、「湯布院」となったのです。観光地としては、「湯布院」の名前が広く知られていますが、JR久大本線の駅名は「由布院駅」となっているなど、訪れた人は疑問に思うかもしれません。由布院盆地内は「由」、湯平も含む場合は「湯」と考えてみるといいですね。

ほうげん 方言

大分県は、瀬戸内海に面している場所であるため、昔から各地の交易が多く、アクセントや文法の両面で共通語に近いとされています。県内の方言を大別すると、東部方言A（国東半島）、北部方言、西部方言、南部方言、東部方言B（県南部）¹の5地域となり、それぞれ方言に大きな変化がみられます。しかし、現在は方言を話す人が急速に減り、地域の独特の言葉が消えています。

●音読してみよう！●

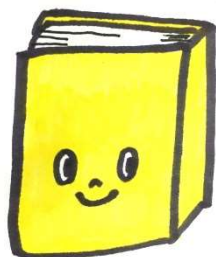
方言こぼればなし～「いのこまつりの行事」

11月のイノシシの日の晩、くろうなっちからそん年ん農作物の豊作を祈ると、モグラ打ちをするため、ワラで作ったイノコヅチを持ち、子どもたちが大人数で家をまわり、「あるかえ、ねえかえ」ちゆうち返事のねえ所らあ、ぬかしち、家の人が出ちきたら「今夜のイノコ祝わんものは、鬼生め、蛇生め、つのんはえた子を生め」ち言うち外ん土ちうパタンパタンと打つ、打ちちもろうた家んしは、子どもたちにお菓子ゆくばっち、「祝いましょう、祝いましょうー」ち又打ち次の家に行きよった。打ったイノコヅチは、なり木（柿の木等）に下げておくと、よう実るち言いよった。

『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』10ページより



●図書館に行ってみよう！●



『100歳イリエおばあちゃんの知恵袋』

由布市立図書館には、100歳の「イリエおばあちゃん」に聞いて作った図書があるよ。たくさんの方言や昔話、おばあちゃんが作っていた料理のレシピがのっているよ！図書館にいて、昔の由布市のくらしをのぞいてみよう。

¹ 松田美香「要地方言の活用体系記述 大分県由布市庄内町方言」より
<http://hougen.sakura.ne.jp/shuppan/2017/3-15.pdf>

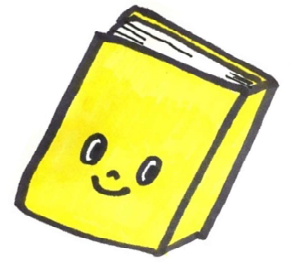
大分で1番目！“図書通帳”ができたよ！

図書館にある機械にこの通帳を通すと、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録することができます。

由布市立図書館が大分で1番目（九州で2番目）にはじめました。通帳のカラフルな絵は大分出身の画家である

ザ・キャビンカンパニーさんによって描かれています。自分が読んだ

本の記録が残ることで読書の楽しみが増えます。ぜひ利用してみてください。



うらもかわいいよ！
ザ・キャビンカンパニー
さんは、由布市の小学校
だった場所をアトリエ
にしているんだ。



由布市の地名はふしぎがいっぱい

地域の名前は、人がそこに住むなかで、うまれてきた名前です。そんななかで、由布市にある地名でなかなかよめないものを選んでみました。

さて、知っている名前があるかな？



地 域	地 名 等	よみがな
挾 間	来鉢	くばち
	朴木	ほおのき
	東院	とい
	海老毛	えびけ
	鬼瀬	おにがせ

地 域	地 名 等	よみがな
庄 内	宇南水足	うなめみったり
	上重	あげじゅう
	櫟木	いちぎ
	蛇口	しゃくち
	透内	すきうち

地 域	地 名 等	よみがな
湯 布 院	槐木	にがき
	温湯	ぬるゆ
	乙丸	おとまる
	鹿出	ろくで
	男能濃松	おののまつ